

# 令和元年度学校関係者評価結果表

評価項目	評点	具体的内容	意見等
1. 教育理念・目的 ・育成人材像等	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育理念・目的・育成人材像は明確になっているか</li> <li>・各学科の教育目標・育成人材は業界ニーズに向けて方向づけされているか</li> </ul>	
2. 学校運営	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営組織や意思決定機能は組織的で明確になっているか</li> <li>・教育活動に関する情報公開が適切に行われているか</li> </ul>	<p>(池田) 厳しい学校経営環境のもと、様々な改善の取り組みに対し、敬意を表します。引き続き、強みと特色を活かした学生募集、育成、就職指導に期待します。</p> <p>(落合) 少子化が進む中で、新入生の確保がますます厳しくなりますが、就職率100%の実績を持って、新しい時代にマッチした能力を備えた学生を輩出していきたい。</p> <p>(久野) 「教育は人なり」につきるわけで、いかに教授スタッフの充実を図るかが重要であります。必要な予算措置を講じて、施設設備等の改善し、充実を図ることは目に見えて学生や保護者から即効的に評価が得られそのこと自体は大切ではありますが、教育機関として長期にわたって存続し、安定的に学生募集がはかれるためには学生・保護者・高等学校・地域社会からの信頼が得られることが必須であり、そのためには、教育内容の充実、それを担保する優れた教員集団が何より求められることだと考えます。</p>
3. 教育活動	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念等に沿ったカリキュラムの編成・実施方針が策定されているか</li> <li>・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準が明確になっているか</li> <li>・資格取得の指導体制はカリキュラムの中で体系的に位置づけられているか</li> <li>・人材育成目標の達成に向け授業が行うことが出来るよう要件を備えた教員を確保しているか</li> </ul>	<p>(知野) 全体として後追い感がある。市内大学の教授等と連携して、特色ある特別講座を設ける(日本経済動向、人口減少、AIとロボット社会等) 特にビッグデータ分析やエクセルの関数操作、分析技術の深耕等リカレント教育 人口減少の中でこれまでのような募集方法では費用対効果があがらない。リカレント教育について本格的に検討する必要がある。2年程度の準備期間の中で強化や先生を選んで、従来教育とリカレント教育の2本柱を中心に備えて時代に対応する特色を打ち出す。</p> <p>専門教育について 簿記1級のみならず、これまでと異なる即就職先の戦力となる専門的資格の付与を目的とする。</p> <p>(吉田) 少子化でますます学生を集めるのが困難となってくると予想される中、CAが経済界とより深くつながる事が、必要だと思います。新人教育、継続的な社会人としての学びなど、中小企業が自社ではなかなか充実できない社員教育をCAが一手に担い、経営を安定させていくこと。そして学生と社会人との関りを深めていくことが、良いのではと提案します。</p> <p>(久野) 教務会議、教員研修については内容、回数とも充実の度合いが認められる。教員研修については、個々の教員の力量アップに意図が感じられます。研修報告会の実施や研修報告書による回覧等により研修内容の共有化が図られるとさらに良いのではと思われる。学生による授業評価、教頭・教務部長による授業評価 レーダーチャートの狭い円を示す教員からの説明(弁明)を受けて授業改善の視点を与えることや授業計画書(シラバス)への反映を確かなものとするよう努力義務を求めることも大切なのではと思われる。</p>

4. 学修成果	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職率の向上が図られているか</li> <li>・資格取得率向上の指導計画が適切になされているか</li> </ul>	<p>(栗尾) 学生や職員による授業評価及び卒業生保護者アンケートの実施等、客観的評価が実施されており、高く評価されます。可能であれば、これらのデータを基に、具体的な改善策を策定し、PDCAを廻していけば、さらに良いのではないのでしょうか。</p> <p>(久野) 卒業生・保護者アンケート 意見・要望の自由記述で資格取得に関するものが目についた。商業系列の学科構成から必然的にこのことが特に求められるものと言えよう、したがってこのことを習熟した意欲ある教員の確保が何より必要であろうと思われま。また、3年間の比較においてほぼどの項目においても総じて「満足」が減少し、「不満」が増加の傾向が見て取れる。いかに教授スタッフの充実を図るかが重要であり、分析内容は的を得た結果となっている。特に「授業の進め方や分かりやすさ」が教育機関として成否を分ける最大で唯一のものと言えるでしょう。</p>
5. 学生支援	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路・就職に関する支援体制は整備されているか</li> <li>・学生相談に関する体制は整備されているか</li> <li>・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか</li> </ul>	
6. 教育環境	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修などについて十分な教育体制を整備しているか</li> <li>・防災に対する体制は整備されているか</li> </ul>	<p>(紫藤) 学校背施設、設備、建物全体の維持管理等の中長期計画を考え、優先すべき問題を明確にとらへて行く事が重要と考えます。合わせて、防犯、防災に対する取り組みも同時に進めていくべきだと思います。</p>
7. 学生の受入募集	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生募集活動は適正に行われているか</li> <li>・学生募集活動において、教育成果が正確につたえられているか</li> </ul>	<p>(藤井) 新入生がいろいろ試みたのは良かったのですが、変わらず落ちてきていますね。もっと根本的な原因を考えるべき。新陽高校が突然人気になったように、そういう学校をもっと研究してはどうなのか。面白い取り組みをする学校を目指しては。たとえばこれからはAIなどのコンピュータの世界が中心になってくると思います。今の若者はそういう事に興味を持つのではないかと思います。就職率が良いだけでは人は集まらなくなったのでは。</p>
8. 財務	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</li> <li>・財務について会計監査が適正におこなわれているか</li> </ul>	
9. 法令順守 (コンプライアンス)	3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</li> </ul>	

10. 情報提供・助言等		・まとめとして上記以外での意見等
--------------	--	------------------